

# 港南区長賞 横浜市保護観察所長賞

## 「みんながあこがれる町へ」

日野小学校 6年 西川 侑希

私は、明るい日野のまちにするためには、だれもがすみやすいまちにすることが大切だと思いました。そう思った理由は、犯罪や非行を起こしてしまった人たちの犯罪や非行を起こした原因にあります。

私はまず、私たちのようなまだ成人していない青少年が起こす非行について調べました。すると、非行が起こる原因に、「お金がなかったから」や、「スリルがほしい」などがある中で、いじめなどで、「やらされている」というものや、「まわりになじめなかった」というのが原因で非行に走る少年もいるということがわかりました。私は、この少年たちに自分の居場所があれば、こんなことは起こらなかったと思います。まわりの人が相談にのってあげたりすることで、非行を少なくすることができ、非行を起こしそうな少年も、いじめなどから、救われるのではないかと考えました。

次に、一度犯罪を起こしてしまった人について調べました。初めて犯罪を起こした人のことを初犯者といい、2回以上犯罪を起こしたことがある人のことを再犯者といいます。ここでは、再犯者のすいいについても、再犯してしまった原因とっしよに調べました。年々、犯罪を起こす人と初犯者の数は減っていますが、なぜか再犯者は横ばいであまり減っていませんでした。それが気になったので次は再犯の原因を調べると、すむところや、仕事が見つからずまた犯罪をくり返している人が多いことがわかりました。初犯後も、仕事が見つからなかったら、お金がないので、お店から商品をぬすんだりして、また犯罪が起きてしまうかもしれません。この原因が解決できずにいたら、ひがいがもっと増えて、犯罪を起こしている人も、やめたくても、仕事が見つからないからやめられないということの連続になっていきます。これをふせぐためには、犯罪を起こした人が社会にもどってきても、だれかが支えてあげることが大切だと思ひます。もし、社会にもどって、だれも支えてくれなかったら、起こしたくもない犯罪を起こしたり、もう社会にもどりたくないと思ひこともあるかもしれません。でも、支えてくれる人がいたら、うまくいかないことがあっても、助けを求めたり、相談したりできるので、再犯することもなくなると考えました。

犯罪が起きないように、防犯カメラをつけたり、夜になるまで外で遊ばないというのも大切ですが犯罪や非行を起こしそうな人が本当に犯罪や非行を起こさないように周りの人がとめてあげる、支えてあげるというのも大切だと思ひます。「私は関係ない」などの理由でやらないのではなく、できるときがあったらやって、「この町はすみやすい」「この町にすみたい」と思ってもらえるような町になれば犯罪や非行も少なくなるのではないかと考えました。たとえば、学校にいくのがつらそうな子や、最近あまり元気がない子に話しかけてみたり、ボランティア活動があったら参加するなど、身近なことからやると少しずつでも、いい町になっていくと思ひました。